

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11100	農業集落排水施設建設事業費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	農業集落排水事業費	分野	5	上・下水道
	項	1	農業集落排水施設費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	1	農業集落排水施設建設費	施策	1	下水道施設の整備
実施計画事業	下水道施設管理事業(農業集落排水施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水処理区域内の市民	受益者数	9,775 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	耐用年数の経過等により老朽化及び機能が低下した処理施設の機器の更新及び延命化を行い処理場の機能維持・機能強化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	低コスト型農集施設機能診断調査業務及び最適整備構想の策定業務。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	機能診断調査箇所数(施設)	施設	目標値		0	5	5
実績値					0	5	5	-
算出根拠等			達成率(%)			100	100	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②			目標値				
実績値								-
算出根拠等			達成率(%)					-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	放流水質の確保	回数	目標値		0	0	0
実績値					0	0	0	-
算出根拠等			達成率(%)					-
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	放流水質の確保	回数	目標値				
実績値								
算出根拠等			達成率(%)					-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			194,941	10,503	16,180	0	
	受益者負担(使用料・負担金等)			15,216	577	1,180	0	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			179,725	9,926	15,000	0	
コスト面	一般財源			0	0	0	0	
	指標名		単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件あたり	(A/B)	19,878	1,074	1,655		
		受益者	処理区域内の市民(B)	9,807	9,775	9,775	9,775	
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、下水道処理の政策的な重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	各種下水道事業を活用し、市域全体に下水道処理施設を配置して市民のニーズに対応している。今後も処理区ごとに利用者の増減はあるものの維持管理は必要不可欠である。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	下水道処理は、下水道整備手法の種類を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	H22年度に低コスト型農業集落排水施設機能診断調査に着手し、今年度も5施設の調査を行うなど、十分に成果指標の数値を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	低コスト型農業集落排水施設機能診断調査に基づく最適構想を作成し、設備の更新・延命化対策を計画的に進めることは、施設の長寿命化・コスト縮減に有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	下水道処理の安定的な稼働を確保するため、耐用年数を超過し老朽化した機械設備などの適切な延命化計画を作成するため、機能診断調査を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	補助事業での機械設備などの延命化を図るため、機能診断調査に着手するなど、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	低コスト型農業集落排水施設更新支援事業の導入による設備の延命化に向けた取り組みに着手するなど、適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	機能診断調査を受けて今後の農業集落排水施設整備の最適構想の策定を行う。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・最適構想では、長寿命化に加え今後のコスト軽減を図る計画を立てる必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	16,180	6,298	△ 9,882	6,198	6,198
国庫支出金	15,000	5,000	△ 10,000	5,000	5,000
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	1,180	1,298	118	1,198	1,198
一般財源					

予算要求の概要	農業集落排水施設最適整備構想策定業務にかかる経費
要求額増減理由	低コスト型農集施設機能診断調査業務の減
事業実施の課題	特環公共下水道への編入も視野に入れた最適構想の策定

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21100	一般管理事務費		担当課	水道環境部 下水道課		内線	2270
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	2	総務費		分野	5	上・下水道	
	項	1	総務管理費		基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る	
	目	1	一般管理費		施策	2	水洗化の普及	
実施計画事業	水洗化普及促進事業							
市長の約束	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水、簡易排水、小規模集合排水、個別排水処理区域内の市民	受益者数	10,466 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	農業集落排水事業受益者分担金及び農業集落排水使用料の適正な徴収を行い収入の確保を図る。 水洗化の普及促進と収入の確保を図る。 農業集落排水事業の運営に必要な経費を支出し事業の円滑な運営を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	農業集落排水使用料の徴収事務については上水道課に委託し水道使用料と併せて徴収を行うことで事務の効率化を図る。 融資あっせん制度については利用者が少ないため、より利用しやすい制度の構築を進める。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント	融資あっせん制度については金融機関と協議のうえ貸付利率の引き下げを行った。		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	下水道使用料現年度収入額	件	目標・実績			
				目標値	H21	H22	H23見込
				135,770	131,300	132,600	133,000
算出根拠等		目標値=予算額	達成率(%)	96	100	100	-
成果指標	②	下水道使用料現年度収入額	%	目標・実績			
				目標値	H21	H22	H23見込
				130,722	131,061	132,600	133,000
算出根拠等		目標値=調定額	達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	①	受益者負担(使用料・負担金等)	(A)	目標・実績			
				目標値	H21	H22	H23見込
				31,251	27,687	23,514	28,000
算出根拠等		目標値=調定額	達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	②	受益者	処理区域内の市民 (B)	目標・実績			
				目標値	H21	H22	H23見込
				2,978	2,645	2,247	2,675
算出根拠等		目標値=調定額	達成率(%)	100	100	100	-

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			C(0)
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	収入を確保し農業集落排水事業の安定した運営を図ることは、今後の機器更新や維持管理を進める中で非常に重要である。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	当事業は収入を確保し農業集落排水事業の安定した運営を図ることを目的とするため、ニーズについては評価し難い。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	収入を確保し農業集落排水事業の安定した運営を図ることで、今後の整備や機器の更新等を進めることができ、結果として市民全体に効果が及ぶ。また滞納等に対する対応を強化し使用料等の負担の公平性を図ることは市民全体に効果が及ぶ。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	当該区域の下水道整備はすでに終了しているが、水洗化率は80%を超え、順調に推移している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	水洗化率は順調に推移し使用料収入も改善の余地はあるが収納率は上昇しているため、水洗化融資あっせん件数が非常に少ない点はあるが手段としてはおおむね有効であるとする。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	収納率向上に向けた滞納等に対する対応をより強化する。より利用しやすい融資あっせん制度の構築を進める。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	農業集落排水使用料徴収の事務委託を行いコスト削減を図っているが、委託の内容等を見直し、さらに削減できるよう努める必要がある。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	当事業は収入を確保し農業集落排水事業の安定した運営を図ることを目的とするため、コストについては評価し難い。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	当事業は収入を確保し農業集落排水事業の安定した運営を図ることを目的とするため、コストについては評価し難い。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		12.0 / 18.0	100点換算		67 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	収納率向上に向けた滞納等に対する対応の強化及び徴収事務の効率化の検討。 より利用しやすい融資あっせん制度の構築。					

総合評価(二次評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・収納率向上に向けた滞納等に対する差し押さえ等の対応の強化及び徴収事務の効率化を検討する必要がある。 ・平成22年度事業評価において、融資あっせん制度のあり方を再検討する必要があるとの指摘をしており、利率の引き下げを行ったところであるが、引き続き利子補給など融資あっせん制度が利用しやすくなるよう検討し、利用者拡大及び水洗化普及率の向上に努める必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	23,514	19,175	△ 4,339	15,349	15,349
財源内訳					
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	23,514	19,175	△ 4,339	15,349	15,349
一般財源					

予算要求の概要	使用料等徴収・水洗化普及に関する経費及び農業集落排水事業運営に関する一般事務費
要求額増減理由	実績による減
事業実施の課題	下水道への接続率が低い地域に対する普及啓発と滞納等への対応による収入の確保

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・実績による減
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	22100	農業集落排水管きよ管理費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2253
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道		
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	1 農業集落排水施設管理費	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業	下水道施設管理事業(農業集落排水施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水処理区域内の市民	受益者数	9,775 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	農業集落排水処理施設(管路施設)の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	管路やマンホールポンプの定期的な調査・清掃・保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値	実績値			
①	マンホールポンプの清掃・保守点検	回数	目標値	12	12	12	12	
			実績値	12	12	12	-	
			算出根拠等	1回/月	達成率(%)	100	100	100
②			目標値					
			実績値					
			算出根拠等		達成率(%)			
成果指標	マンホールポンプの清掃・保守点検	回数	目標値	12	12	12	12	
			実績値	12	12	12	-	
			算出根拠等	1回/月	達成率(%)	100	100	100
②			目標値					
			実績値				-	
			算出根拠等		達成率(%)			
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			23,091	23,335	24,963	25,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)			23,091	23,335	24,963	25,000	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0	
	一般財源			0	0	0	0	
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件あたり	(A/B)	2,355	2,387	2,554	2,558	
		受益者	処理区域内の市民 (B)	9,807	9,775	9,775	9,775	
	②							
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約ともに位置づけられている事項であり、「すみよさ」のあるまちを実現するためには下水道施設の維持管理は必要不可欠である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	施設は正常に稼働するのが当然であるため。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	農業集落排水管きよ整備区域内の市民
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	月1回の清掃、保守点検を行い、必要に応じて修繕を実施しており、適正な維持管理が来ている。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	専門技術員(委託)による適正な維持管理により、施設が正常に稼働している。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	マンホールポンプ及びその関連機械設備で耐用年数を経過した施設があるが、修繕や部品の交換で延命化を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	マンホールポンプ等の修繕は、最低限必要な部品交換にとどめており、常にコスト削減に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	「すみよさ」のあるまちを実現するため、必要最低限な施設の維持管理を実施している事から、受益者1人あたりのコストは適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	専門技術員(委託)による維持管理により、施設が正常に稼働しており、修繕も最低限にとどめている。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		12.0 / 18.0	100点換算	67 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	管路の調査・修繕・清掃やマンホールポンプの保守点検は特殊な技術と設備が必要なため、それぞれ限られた業者しか実施できないのが現状であるが、今後は水道光熱費、修繕費等も含めた包括的民間委託や指定管理者制度への移行を検討する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・包括的委託や指定管理制度への移行については、課題を整理し、検討していく必要がある。 ・修繕については計画的に実施していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	24,963	36,783	11,820	25,960	25,960
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	24,963	36,783	11,820	25,960	25,960
一般財源					

予算要求の概要	農業集落排水地域の管きよ、マンホール及びマンホールポンプの維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料等の経費
要求額増減理由	施設の老朽化に伴う修繕料の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	22105	農業集落排水処理場管理費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道		
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	1 農業集落排水施設管理費	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業	下水道施設管理事業(農業集落排水施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水処理区域内の市民	受益者数	9,775 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	農業集落排水処理場の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	処理施設の定期的な保守点検・清掃を実施し、必要に応じて修繕を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 処理場数(施設)	目標値	施設		27	26	26	26
実績値				27	26	26	-	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②	目標値						
実績値							-	
算出根拠等			達成率(%)				-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 放流水質の確保	目標値	回数		0	0	0	0
実績値				0	0	0	-	
算出根拠等	水質事故件数		達成率(%)				-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②	目標値						
実績値							-	
算出根拠等			達成率(%)				-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)			(A) 154,076	155,241	159,015	158,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)			154,076	155,241	159,015	158,000	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0	
コスト面	一般財源			0	0	0	0	
	指標名		単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件あたり	(A/B)	15,711	15,881	16,268	16,164	
		受益者	処理区域内の市民 (B)	9,807	9,775	9,775	9,775	
算出根拠等								

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、下水処理の政策的な重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	各種下水道事業を活用し、市域全体に下水処理施設を配置して市民のニーズに対応している。今後も処理区ごとに利用者の増減はあるものの維持管理は必要不可欠である。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	下水処理は、下水道整備手法の種類を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	良好な水質を維持し、コスト削減を図りながら、適切に下水処理施設の維持管理を行っており、十分に成果指標の数値を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	専門技術員(委託)による処理場の適切な維持管理と、効率的な機械設備の運転を行っている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設の老朽化に伴う突発修繕の増加があるが、修繕方法・発注方法の精査や部品供給による維持管理業者での修繕など、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	さらなる電力・薬品等の使用量抑制策の模索、修繕・委託業務の見直しなど、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	今後コストを維持しつつ、現有施設の延命化を図っていく必要がある。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・現有施設の延命化による持続可能な維持管理運営				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、継続して実施する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	159,015	162,766	3,751	158,888	158,888
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	159,015	162,766	3,751	158,888	158,888
一般財源					

予算要求の概要	農業集落排水地域の処理場26施設の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料、汚泥運搬及び処分料等の経費
要求額増減理由	施設の老朽化に伴う修繕料の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	22200	簡易排水施設管理費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道		
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	2 簡易排水施設管理費	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業	下水道施設管理事業(簡易排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易排水処理区域内の市民	受益者数	163 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	簡易排水施設の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	処理施設の定期的な保守点検・清掃を実施し、必要に応じて修繕を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 処理場数(施設)	施設	目標値		4	4	4
実績値				4	4	4	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							-
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 放流水質の確保	回数	目標値		0	0	0
実績値				0	0	0	-
算出根拠等	水質事故件数		達成率(%)				-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							-
算出根拠等	達成率(%)						-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			3,476	3,432	3,670	4,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			3,476	3,432	3,670	4,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0
コスト指標	一般財源			0	0	0	0
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件あたり	(A/B)	21,457	21,055	22,515	24,540	
		受益者 処理区域内の市民 (B)	162	163	163	163	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、下水処理の政策的な重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	各種下水道事業を活用し、市域全体に下水処理施設を配置して市民のニーズに対応している。今後も処理区ごとに利用者の増減はあるものの維持管理は必要不可欠である。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	下水処理は、下水道整備手法の種別を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	良好な水質を維持し、コスト削減を図りながら、適切に下水処理施設の維持管理を行っており、十分に成果指標の数値を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	専門技術員(委託)による処理場の適切な維持管理と、効率的な機械設備の運転を行っている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設の老朽化に伴う突発修繕の増加があるが、修繕方法・発注方法の精査や部品供給による維持管理業者での修繕など、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	修繕・委託業務の見直しなど、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	今後コストを維持しつつ、現有施設の延命化を図っていく必要がある。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・現有施設の延命化による持続可能な維持管理運営。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、継続して実施する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	3,670	3,798	128	3,668	3,668
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	3,670	3,798	128	3,668	3,668
一般財源					

予算要求の概要	簡易排水地域の処理場4施設の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料、汚泥処分料等の経費
要求額増減理由	施設の老朽化に伴う修繕料の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	22300	小規模集合排水施設管理費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道		
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	3 小規模集合排水施設管理費	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業	下水道施設管理事業(小規模集合排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小規模集合排水処理区域内の市民	受益者数	320 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	小規模集合排水施設の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	処理施設の定期的な保守点検・清掃を実施し、必要に応じて修繕を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 処理場数(施設)	施設	目標値		9	9	9
実績値				9	9	9	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							-
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 放流水質の確保	回数	目標値		0	0	0
実績値				0	0	0	-
算出根拠等	水質事故件数		達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							-
算出根拠等	達成率(%)						-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			7,206	7,185	7,770	8,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			7,206	7,185	7,770	8,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0
コスト面	一般財源			0	0	0	0
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件あたり	(A/B)	22,660	22,453	24,281	25,000	
		受益者 処理区域内の市民 (B)	318	320	320	320	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、下水処理の政策的な重要性は高い。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	各種下水道事業を活用し、市域全体に下水処理施設を配置して市民のニーズに対応している。今後も処理区ごとに利用者の増減はあるものの維持管理は必要不可欠である。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	下水処理は、下水道整備手法の種別を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	良好な水質を維持し、コスト削減を図りながら、適切に下水処理施設の維持管理を行っており、十分に成果指標の数値を達成している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	専門技術員(委託)による処理場の適切な維持管理と、効率的な機械設備の運転を行っている。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設の老朽化に伴う突発修繕の増加があるが、修繕方法・発注方法の精査や部品供給による維持管理業者での修繕など、改善・工夫に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	修繕・委託業務の見直しなど、改善・工夫に取り組んでいる。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは概ね適正である。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	今後コストを維持しつつ、現有施設の延命化を図っていく必要がある。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		15.0 / 20.0	100点換算		75 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	現有施設の延命化による持続可能な維持管理運営。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、継続して実施する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	7,770	8,682	912	8,365	8,365
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	7,770	8,682	912	8,365	8,365
一般財源					

予算要求の概要	小規模集合排水地域の処理場9施設の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料、汚泥処分料等の経費
要求額増減理由	施設の老朽化に伴う修繕料の増
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	22400	個別排水施設管理費	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2971
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道		
	項	2 農業集落排水施設管理費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	4 個別排水施設管理費	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業	下水道施設管理事業(個別排水処理施設)、下水道施設維持修繕・改修事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	個別排水処理区域内の市民	受益者数	208 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	個別排水施設の適正な維持管理を行い、施設の健全化、延命化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	処理施設の定期的な保守点検・清掃を実施し、必要に応じて修繕を行う。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	処理場数(施設)	施設	目標値	57	57	57	57
			実績値	57	57	57	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
②			目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	放流水質の確保	回数	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件あたり	(A/B)	目標値	21,163	21,442	23,274	24,038
			実績値	208	208	208	208
算出根拠等			達成率(%)				-

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				
	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A) 4,402	4,460	4,841	5,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	4,402	4,460	4,841	5,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画、市長公約に位置づけられ、市民の環境・衛生を守るため、下水処理の政策的な重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	各種下水道事業を活用し、地域全体に下水処理施設を配置して市民のニーズに対応している。今後も処理区ごとに利用者の増減はあるものの維持管理は必要不可欠である。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	下水処理は、下水道整備手法の種別を問わず、市内全域が対象となり、事業効果も概ね市民全体に及ぶ。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	良好な水質を維持し、コスト削減を図りながら、適切に下水処理施設の維持管理を行っており、十分に成果指標の数値を達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	専門技術員(委託)による処理場の適切な維持管理と、効率的な機械設備の運用を行っている。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設の老朽化に伴う突発修繕の増加があるが、修繕方法・発注方法の精査や部品供給による維持管理業者での修繕など、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	修繕・委託業務の見直しなど、改善・工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは概ね適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	今後コストを維持しつつ、現有施設の延命化を図っていく必要がある。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	現有施設の延命化による持続可能な維持管理運営。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・下水道整備5ヵ年計画に基づき延命化に努め、継続して実施する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	4,841	4,972	131	4,841	4,841
財源内訳					
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	4,841	4,972	131	4,841	4,841
一般財源					
予算要求の概要	個別排水施設の維持管理に必要な消耗品、光熱水費、修繕料、委託料、汚泥処分料等の経費				
要求額増減理由					
事業実施の課題	施設の老朽化に伴い増加が見込まれる修繕の計画的な実施				
財務部査定の考え方	・積算内容を精査				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31100	地方債元金	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2270
予算	会計	10 農業集落排水事業特別会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	3 公債費	分野	5 上・下水道		
	項	1 公債費	基本施策	2 生活環境の向上と流域の水質保全を図る		
	目	1 元金	施策	1 下水施設の整備		
実施計画事業						
市長の約束	市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水、簡易排水、小規模集合排水、個別排水処理区域内の市民	受益者数	10,466 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地方債にかかる元金の償還		
概要	事業の実施手法(手段)			
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	ha	目標値				
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	%	目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				372,441	311,717	291,936	
	受益者負担(使用料・負担金等)				320,733	293,069	291,936	0
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				51,708	18,648	0	0
コスト指標	一般財源				0	0	0	0
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件あたり	(A/B)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	②	受益者	処理区域内の市民(B)					
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		#### / #N/A	100点換算	#### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	291,936	268,413	△ 23,523	268,413	268,413
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	291,936	268,413	△ 23,523	268,413	268,413
一般財源					

予算要求の概要	地方債にかかる元金の償還
要求額増減理由	
事業実施の課題	借入額の抑制、繰上償還の実施等による地方債残高の縮減及び高金利負担の軽減

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31200	地方債利子	担当課	水道環境部 下水道課	内線	2270
予算	会計	10	農業集落排水事業特別会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	3	公債費	分野	5	上・下水道
	項	1	公債費	基本施策	2	生活環境の向上と流域の水質保全を図る
	目	2	利子	施策	1	下水施設の整備
実施計画事業						
市長の約束 市民の生活と生命・財産を守ります ・快適な生活環境の整備を進めるため、下水道の整備を促進します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農業集落排水、簡易排水、小規模集合排水、個別排水処理区域内の市民	受益者数	10,466 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地方債にかかる利子の償還		
概要	事業の実施手法(手段)			
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	ha	目標値				
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	%	目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				117,587	110,525	104,770	
	受益者負担(使用料・負担金等)				117,221	103,202	104,770	0
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				366	7,323	0	0
コスト指標	一般財源				0	0	0	0
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件あたり	(A/B)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
	②	受益者	処理区域内の市民(B)					
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		#### / #N/A	100点換算	#### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	104,770	98,969	△ 5,801	98,969	98,969
国庫支出金			0		0
県支出金			0		0
起債			0		0
その他	104,770	98,969	△ 5,801	98,969	98,969
一般財源					

予算要求の概要	地方債にかかる利子の償還
要求額増減理由	
事業実施の課題	借入額の抑制、繰上償還の実施等による地方債残高の縮減及び高金利負担の軽減

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに